

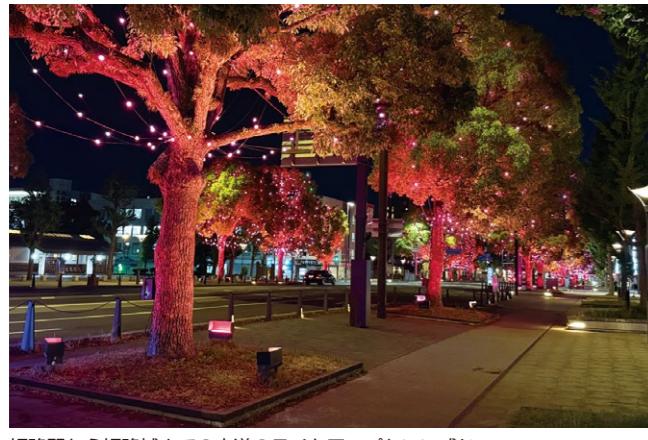
# ぶらり旅

兵庫県・姫路編

まるで水から飛び立つ  
白鷺のような美しさから  
別名「白鷺城」とも呼ばれる  
姫路城。

新緑の美しさとの調和  
も素晴らしい初夏の姫路  
を訪ねました。





姫路駅から姫路城までの夜道のライトアップもいい感じ。



姫路駅から夜の姫路城を望む……よきかな



国宝・姫路城に隣接する好古園は池泉回遊式の日本庭園



こうしたエネルギースポットは、からだやここが疲れたときなどに訪れると、疲れもスッパ抜けることでしょう。

書写山から姫路の街へ戻った頃には、もう日も暮れかけてスポットライトが姫路城を美しく照らしておりました。

書写山で購入したトム・クルーズもお気に入りというお菓子をお伴に姫路の夜は更けていくのでした……いと、をかし。

トム・クルーズも入りたいうお菓子をお伴に姫路の夜は更けていくのでした……いと、をかし。

大人買いたいというお菓子をお伴に姫路の夜は更けていくのでした……いと、をかし。

トム・クルーズも入りたいうお菓子をお伴に姫路の夜は更けていくのでした……いと、をかし。

いやはや、なんと美しきかな姫路城……と、つい文体までおかしくなつてしまふほどの美しさは白鷺城の別名も、むべなるかな。

1333年にはじめてこの地に砦が築かれてから、歴代の城主によって拡張が続けられ、現在の全容となつたのが1617年。その後、1933年に日本ではじめての世界文化遺産に登録されたとのことをかし……文章も、なにかおかし。(おかしな文体ここまで)

姫路城から車で移動すること約20分で到着したのは966年に性空上人によつて開かれたという天台宗の古刹・書写山圓教寺。

しょしゃざんつて、かまことに言えますか?……べつに言えても言えなくとも、どっちでもいいんですけど(笑)僕は猛練習をして言えるようになります。

ついでに、唇の上下が触れないよう、しょしゃざんえんぎようじつて言えますか?……これは、もともと

もと触れずに言えるでしょう。

それにしても、さすが西の比叡山と称される書写山圓教寺。一帯に広がるエネルギーと境内に点在する貴重な文化財が織りなす莊厳で静謐な雰囲気は映画『ラストサムライ』のロケ地になるなど多くの名作の舞台となつたことも納得なのであります。

「摩尼殿」「大講堂」「食堂」を抜けたところにある「奥の院」もまた氣持ちのよいスポット。



西國三十三靈場の第二十七番札所・書写山圓教寺は西の比叡山とも呼ばれる名刹



標高371mの山上までロープウェイで行けちゃいます。



奥の院のこの辺りが、またいちだんと心地よいスポット!



映画『ラストサムライ』や大河ドラマ『軍師官兵衛』など錚々たる作品のロケ地にもなりました。